

地方独立行政法人大阪府立病院機構 平成18事業年度の取組の概要

資料 2

【小項目数と自己評価結果】

	項目数	V	IV	III	II	I
第1 業務の質の向上	71(13)	—	3(2)	65(10)	3(1)	—
第2 業務運営の改善等	26(5)	—	1(1)	25(4)	—	—
合計	97(18)	—	4(3)	90(14)	3(1)	—

※()内は重点項目の内数

1 運営体制の確立

- 法人運営の基盤となる運営体制の整備と役職員の意識改革
- 5病院一体となって課題に取り組むための仕組みづくり(横断的組織の整備)
- 病院の権限・裁量の拡大
- 病院が主体的に取り組むための仕組みの整備



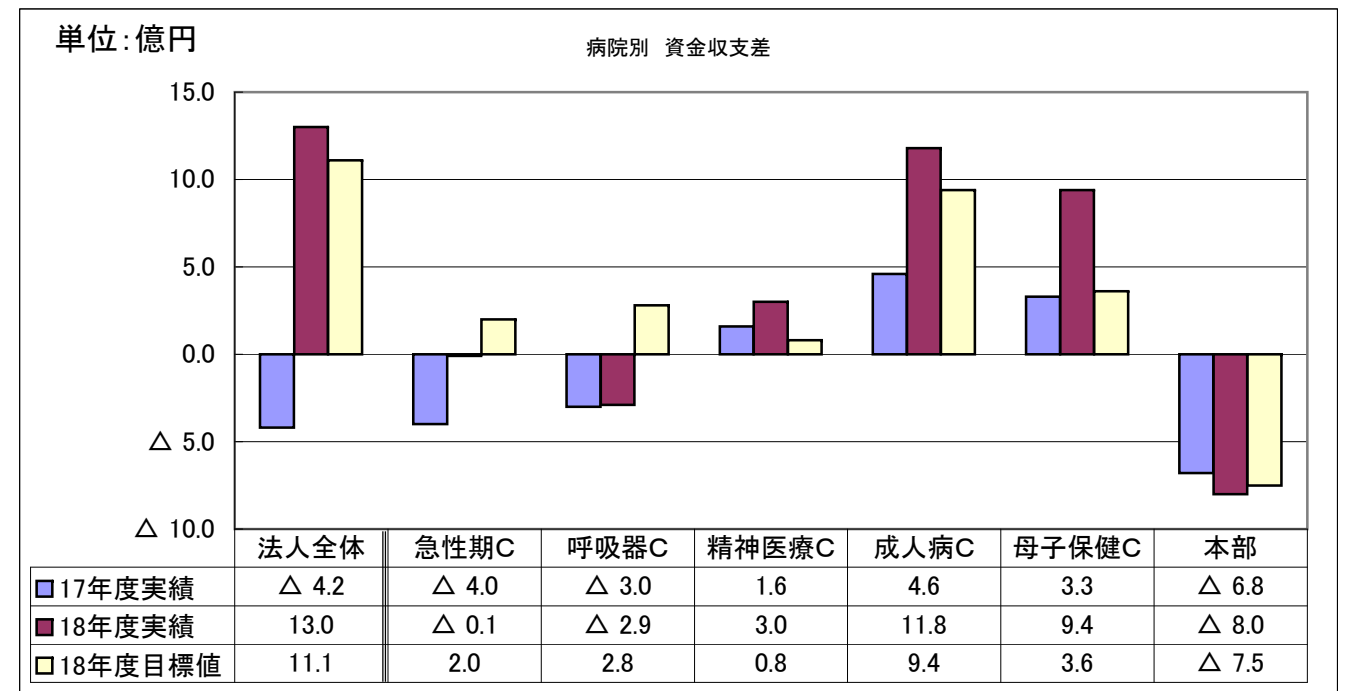
2 医療・サービスの提供

- 大阪府の医療施策の実施機関として担うべき医療等を着実に提供
- 実施状況は毎月理事会で点検するほか、事務局会議等で進捗管理
- この結果、計画を概ね達成

- 救命救急センターとして救急搬送受入れ件数の増 (18年度実績 3,563件 対前年度 76件増)
- SCU、CCUの本格運用に向けた整備・運用 (SCU 6床新設、CCU 2床増設)
- 身体障害者福祉センター附属病院との統合に向けた施設改修等 (病棟改修工事)
- 難治性多剤耐性結核広域圏拠点病院として多剤耐性結核新入院患者数を受入れ (18年度実績 18人)
- たばこ病外来、禁煙外来の開設 (肺がん等の呼吸器疾患に対する総合的診断・治療)
- アトピー性皮膚炎患者の新患者数 (18年度実績 1,128人 対前年度 36人減)
- 精神保健福祉法に基づく措置入院、応急入院などへの対応 (18年度実績 措置入院32件 緊急措置入院50件 応急入院6件)
- 自閉症の確定診断待機患児対策として外来診療体制の強化 (18年度実績 278人 対前年度 34人増)
- 再編整備について22年度完成を目指しPFI法に基づく手続に着手
- 難治性がん患者に対する手術件数の増 (18年度実績 829件 対前年度 71件増)
- 外来化学療法室の利用件数の増 (18年度実績 44.9人/日 対前年度 9.5人/日増)
- 都道府県がん診療連携拠点病院の指定 (19年1月)
- 産婦人科診療相互援助システム基幹病院として母体緊急搬送受入れ件数の増 (18年度実績 124件 対前年度13件増)
- 小児外科医師等の確保や国立病院機構大阪南医療センターとの連携による手術体制の拡充
- ホスピタルプレイスペシャリストによる療養支援

3 経営の改善

- 第1期中期目標期間中の不良債務の解消に向けて好スタート (平成18年度 期首65.7億円⇒期末52.7億円)



【運営体制確立における取組成果】
○ 理事長のリーダーシップが発揮されるとともに、各病院の自立性が確保された法人としての基本的な運営体制が整備され、法人一丸となって目標達成に向けて取り組むことで、各項目において、それぞれ実績をあげることができた。

【医業収支比率(医業収益÷医業費用)】

	法人全体	急性期C	呼吸器C	精神医療C	成人病C	母子保健C
17年度実績	78.7%	86.8%	73.2%	54.2%	83.4%	78.2%
18年度実績	81.8%	87.9%	71.6%	59.3%	88.4%	83.4%